

黒芯症の発生生態

三浦半島地域のダイコン黒芯症は主に黒斑細菌である*Pseudomonas syringae* pv. *maculicola*の感染によって発生していると考えられます。従来、気温が上昇し始める3月どりのダイコンで被害が目立ちましたが、近年の地球温暖化により、それより前の作型でも被害が出始めています。原因の潜伏場所や感染経路には不明な点が多いのですが、畑の中あるいは周辺の雑草等に潜伏していたものが生育初期に感染定着後、老化葉の脱落痕からダイコンの首部に侵入すると考えられます。

防除対策

黒芯症の対策としては次の3つがあります。

- 耐病性の高い品種の選択
- 農薬の予防的散布
- 施肥体系の改善

耐病性の高い品種の選択

現在、黒斑細菌病への耐病性の観点から品種



春ダイコンに発生した黒芯症

農業だより

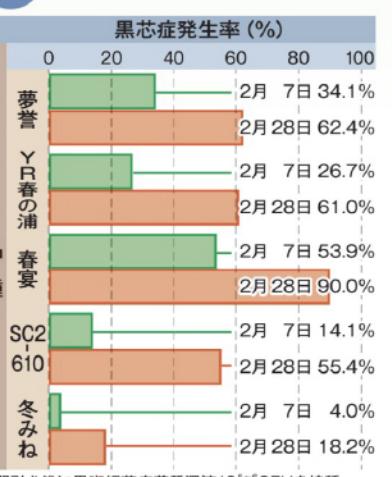
ダイコン黒芯症について

神奈川県農業技術センター三浦半島地区事務所 研究課 原 康明

近年、発生が多くなっているダイコン黒芯症は出荷時の外見では判別が難しく消費者からのクレームにつながることもあります。その年の天候や畑の環境も影響するため総合的な対策が重要です

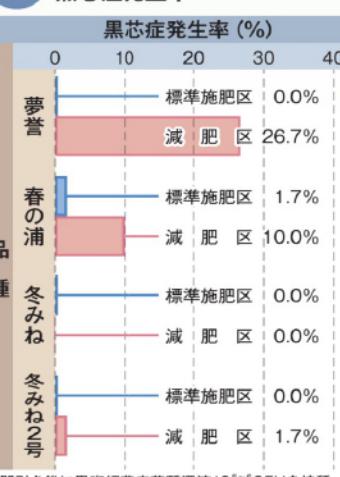
育成を実施している種苗メーカーは少ないのが現状ですが、黒芯症が全国的な問題となっているため一部のメーカーは検定方法の研究を始めています。当所でも平成26年度から黒芯症発生率の品種間差異に関する試験を実施しています(図1、2)。黒芯症発生率の低い品種を栽培する場合は抽苔特性にも配慮する必要があります。

図2 品種と黒芯症発生率(2016年2月調査)



※間引き後に黒斑細菌病菌懸濁液10^{5~6}CFUを接種

図1 品種および施肥量と黒芯症発生率(2015年3月調査)



※間引き後に黒斑細菌病菌懸濁液10^{5~6}CFUを接種

総合的病害虫管理(IPM)の実践を

現在、ダイコン黒芯症に対する特効薬(決め手)はありません。前述の品種、農薬、施肥体系を組み合わせるのが理想ですが、圃場環境(冠水しやすい畑、水はけの悪い畑はリスク大)やその年の天候(多雨、暖冬はリスク大)に応じた対策の選択、組み合わせが現実的でしょう。

大楠地区 農産物品評会開く

JAよこすか葉山大楠地区運営委員会主催の令和2年冬期農産物品評会を2月14日、大楠支店で開きました。蔬菜、果菜、花卉、加工合わせて179点の中から特選7点、入選36点が選ばれました。特選の方々を紹介します。



(敬称略)		
横須賀青果物株式会社社長賞	カリフラワー	
三浦半島農業改良推進協議会長賞	あやめかぶ	
よこすか葉山農業協同組合長賞	小梅	
青壯年部・大楠支部長賞	レタス	
大楠花卉園芸組合長賞	金魚草	
よこすか葉山農業協同組合	ブロッコリー	
冬春野菜出荷部会大楠支部長賞	甘夏	
よこすか葉山農業協同組合		
大楠支店長賞		